

様式 4

第 15 回高石市入札等監視委員会議事概要

開催日時及び場所	平成 26 年 6 月 25 日 (水) 午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分 高石市役所会議室 202	
出席委員	3 名全員 (大学教授 1 名、大学准教授 1 名、弁護士 1 名)	
事務局	契約検査課：塚本課長、伊奈課長代理、中井主幹、山内主任 街路河川課：藤原次長兼課長、松原課長代理 建築住宅課：酒井課長、松本課長代理、庄司主事 上下水道課：清水次長兼課長、上田参事、清水課長代理、武田課長代理、 堀計画工務係長、船富主査	
審議対象期間	平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月	
抽出案件	6 件	一般競争入札 ・(仮称)高石市鴨公園防災体育館新築工事(建築工事) ・(仮称)高石市鴨公園防災体育館新築工事(電気設備工事) 通常指名競争入札 ・7-0㊟号線雨水管布設工事(面整備) ・高砂 1 号線液状化対策工事(その 1) ・高師浜野球場グラウンド改修及び駐車場整備工事 ・(整備 25-2)和泉泉南線配水管整備工事
一般競争入札	2 件	
公募型指名競争入札等	1 件	
通常指名競争入札	4 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問 とそれに対する回答等	別紙のとおり	
委員会意見の内容	今期の入札契約手続きは、概ね妥当である。 入札及び契約状況の経年的な傾向、各事案の結果に至った理由について、更なる 調査及び情報の整理に努められたい。	

委員	事務局
1 平成25年度下半期の入札及び契約手続の運用状況について	
<p>平成25年度下半期の入札及び契約には、どのような傾向が見られるか。</p> <p>件数や金額の面から入札及び契約の経年の変化や各年度の傾向が見てとれる本委員会用の資料の作成をされたい。</p>	<p>○入札及び契約手続の運用状況について、事務局から説明があった。</p> <p>平成25年度上半期の契約金額が、約2億5千万であるのに対し、下半期は約1億7千万円と大きく上回った。</p> <p>これは、(仮称)高石市鴨公園防災体育館新築工事に係る建築及び電気設備工事と高砂1号線液状化対策工事において1億円を超える比較的金額の大きい案件があったことによる。</p> <p>なお、過去の年度と比較しても、南海中央線道路整備に関する工事や中学校2校の給食調理棟に関する工事のあった平成24年度が年間で約1億2千万円、南海中央線電線共同工や中学校1校の給食調理棟に関する工事のあった平成23年度が年間で約7億円であることから、平成25年度は年間においても契約金額が大きい年度であったと言える。</p> <p>次回の委員会から対応したい。</p>
2 平成25年度下半期における指名停止の状況、談合情報の状況及び契約解除の状況について	
	<p>○指名停止の状況、談合情報及び契約解除の状況について事務局から次のように説明があった。</p> <p>指名停止の状況については、平成26年3月4日、公正取引委員会から独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構発注の北陸新幹線融雪・消雪基地機械設備工事において、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)第3条(不</p>

<p>指名停止措置を受けた5者について、高石市での受注実績はあるか。</p> <p>指名停止の状況、談合情報の状況及び契約解除の状況について、本委員会用の資料の作成をされたい。</p>	<p>当な取引制限の禁止)の規定に違反したとして刑事告発されたことを受け、該当する業者のうち高石市の入札参加資格を有する5者に対して、高石市競争入札指名停止要綱別表6(2)イを適用し、平成26年3月25日から9月24日まで6月の期間の指名停止措置を行った。</p> <p>談合情報の状況及び契約解除の状況についての案件はなし。</p> <p>過去に空調関係の管工事で指名した実績のある業者が含まれているが、受注実績はない。</p> <p>次回の委員会から対応したい。</p>
<p>3 抽出事案の審議について</p>	
<p>○ 抽出担当委員から抽出理由について次のような説明があった。</p> <p>一般競争入札の事案は、近年なかったこともあり、2件とも抽出した。抽選により決定した事案と抽選によらず決定した事案の両方があるため、審議したい。</p> <p>契約検査課発注の通常指名競争入札から、工事種別が土木の事案は8件全て抽選により決定しているが、それらのうち最も契約金額が大きい事案、また、舗装の事案は3件、建築の事案は4件であるが、それぞれ抽選によらず決定した事案を抽出した。</p> <p>上下水道課発注の通常指名競争入札からは、管工事の事案4件のうち、最も契約金額の大きい事案を抽出した。</p>	

<p>○ (仮称)高石市鴨公園防災体育館新築工事(建築工事)及び(仮称)高石市鴨公園防災体育館新築工事(電気設備工事)</p> <p>※ 2件の一般競争入札の事案について、併せて審議した。</p> <p>入札公告の3、入札参加資格について、(1)から(14)までの要件を定めている。(1)から(6)については、高石市建設工事に係る条件付一般競争入札(事後審査方)実施要綱第3条第1項により、(7)から(14)については、高石市競争入札審査会の意見を聴いてとのことであるが、形式上の存在の仕方として(7)から(14)を明文に定めた要綱等はないか。</p> <p>これらの入札参加資格の要件を設定した審査会は、いつ開催したのか。</p> <p>建築工事と電気設備工事の要件で異なるのは(11)、(12)、(13)だけである。ほとんどの要件は、明文の規定がなくても慣例化したものであるようだが、審査会は事案があるたびに開催されるのか。</p> <p>高石市建設工事に係る条件付一般競争入札(事後審査型)実施要綱第5条第2項によると、前述の要件について形式的な審査を行うとのことであるが、この審査を行う課はどこか。</p> <p>事務はどのように進められるか。複数名で審査しているか。</p> <p>同第14条による落札候補者決定後の審査は、いつどのように行われるのか。</p>	<p>(7)から(14)は、事案ごとに定めた参加資格の要件である。</p> <p>過去の一般競争入札においても(7)から(14)に設定した要件は類似している。</p> <p>要綱等の明文の規定はなく、この公告にしか記述はない。</p> <p>平成25年10月25日に開催した。</p> <p>今回の2件については、発注時期が異なるため、事案ごとに開催した。</p> <p>契約検査課である。</p> <p>契約検査課の課員全員で書類を審査し、決裁行為で決裁権者まで確認している。</p> <p>入札後、審査会を開催し、委員長及び委員で審査する。</p>
---	--

<p>入札公告の2、スケジュールには審査会の日程が記載されていないが。</p> <p>建築工事において、6者が辞退している。多いように思われるが、何か情報を把握しているか。</p> <p>過去にも辞退が多かった事案はあるか。今回は特別に多いのではないか。</p> <p>入札参加申請書提出の締め切りが11月8日、入札日が11月29日であるが、辞退はこの間に提出されたのか。</p> <p>談合情報はよせられていないか。</p> <p>辞退が多く、結果としても落札価格はやや高止まりしている。資材の高騰や技術者の不足等、様々な要因が考えられる。</p> <p>他の発注機関も含め、不調になった公共工事の事案から過去2～3年の建設業界の動向を調査しておくことは有効ではないか。建設業界においてこのような結果が一般的であるなら、今回の事案も高石市においてのみ異例の事態であるとは言えない。</p> <p>情報収集し、資料を作成されたい。</p>	<p>公告は入札参加者向けの情報であるため、参加者に周知する必要のない審査会の日程は、記載されていない。</p> <p>辞退は自由であり、辞退理由の調査は行っていない。</p> <p>入札参加申請書提出後の辞退であることから、業者の積算が予定価格・最低制限価格と合わなかったことが推測される。</p> <p>一般競争入札において、参加業者の半数以上が辞退した事例は稀である。今回は特別に多いと認識している。</p> <p>辞退した6者のうち4者からはこの間に辞退届けが提出された。残りの2者は、入札時に辞退の旨を記載した入札書を投函した。</p> <p>よせられていない。</p> <p>入札参加業者には、他にどの業者が入札参加申請を行っているか事前にはわからない。要件を満たしている業者であればどこでも自由に参加できるため、談合は極めて困難であると考えます。</p> <p>情報収集に努めたい。</p>
---	--

<p>○ 7-0⑨号線雨水管布設工事(面整備)</p> <p>指名業者選定理由において、市外業者を経営事項審査のP点が1050点に近い者から5者を選定したとのことであるが、この5者の分布は、1050点の上下にわたっているか。</p> <p>1050点未満が4者と多くなったのは偶然か。</p> <p>指名業者8者のうち3者が市内業者であるが、その3者は辞退もしくは高値での応札となっている。</p>	<p>1050点以上が1者、未満が4者である。</p> <p>地理的要件を設け、近隣市町村としたところそのようになった。</p> <p>理由については把握していないが、本件はオープンシールド工法ということもあり、技術的な問題ではないかと推測される。</p>
<p>○ 高砂1号線液状化対策工事(その1)</p> <p>指名業者選定理由において、新規登録の業者3者を除いている。</p> <p>辞退が多いが、舗装工事の業界の動向も含めて原因は推測できるか。</p> <p>落札した1者だけが最低制限価格で応札しているが、この業者だけが特別な技術を持っておりコストダウンできる可能性もある。</p>	<p>高石市指名競争入札参加者選定基準第7条において、「新規登録の有資格者については、有資格者名簿登録後1年を経過した後、指名を行うものとする」となっている。当該3者は、平成26年4月1日から有効の有資格者であるため、登録後1年を経過しないと指名しない。</p> <p>推測は難しい。 業界の動向の情報収集に努めたい。</p> <p>【街路河川課】 本件のような液状化対策工事は、施工実績のない業者が多い。</p>

<p>施工例のあまりない工事で、多くの業者が 辞退しているなか、落札業者が適切に施工で きるか懸案されるところである。</p> <p>本件は竣工しているか。</p> <p>技術的にはどのような工事であるか。</p> <p>地盤改良は、一般的にもよく行われている 工事であるか。</p> <p>落札した業者のこれまでの評価はどうか。 指名停止等の経歴はあるか。</p> <p>過去に高石市での受注実績はあるか。</p> <p>○ 高師浜野球場グラウンド改修及び駐車 場整備工事</p> <p>辞退が多い理由は、何か考えられるか。</p> <p>難易度の高い工事であるか。</p> <p>工事種別は建築一式であるが、工費はどの 部分に掛かる割合が高いか。</p>	<p>【街路河川課】 まだ施工中であるが、順調に施工されてい る。</p> <p>【街路河川課】 路盤の下の深さ1メートルにわたりセメ ントを混ぜて地盤改良するものである。</p> <p>【街路河川課】 特段、技術的に特殊、もしくは難易度の高 い工事であるという認識はない。</p> <p>高石市において指名停止はない。</p> <p>受注実績はない。 舗装工事で本件のように金額の大きい発 注は、近年なかった。</p> <p>入札日が平成26年1月31日であるが、 工期が平成26年3月20日までと短く、業 者には期間内の竣工が厳しいと判断された のではないかと。</p> <p>難易度の高い工事という認識はない。</p> <p>【建築住宅課】 駐車場の料金ゲート設置に掛かる割合が 最も高い。野球場グラウンドの内野部分の黒 土入れ替えにも比較的にかかる割合が高い。</p>
---	--

<p>○ (整備 25-2)和泉泉南線配水管整備工事</p> <p>上下水道課発注の工事に関して、高石市水道事業指名競争入札参加者選定基準という、市長部局とは別の基準が設けられているのはなぜか。市指定給水装置工事事業者の指定及び高石市水道災害対策協定の締結が関係しているか。</p> <p>水道事業の工事について、業者の受注意欲は高いようであるが。</p>	<p>旧来より、水道事業の工事については、市長部局から独立して上下水道課にて入札契約事務が行われていた。平成24年度から契約検査課が上下水道課の併任辞令を受け、上下水道課として水道事業の入札契約事務の移管を受けたが、水道管工事の技術的性質や緊急時の対応を鑑み、旧来通りの高石市水道事業指名競争入札参加者選定基準を適用している。</p> <p>最低制限価格で複数者が並び、抽選により決定している事案が多いことから、業者の受注意欲は高いことが推測できる。</p>
<p>4 その他</p>	
<p>入札契約事務全般において、公共工事の業界の動向は見てとれるか。</p> <p>高石市の事案でも辞退した業者が多い。適正な入札及び契約が確保されているか検証するためにも業界の動向等の情報を収集してほしい。</p> <p>国や大阪府から情報提供、もしくは対応の通達等はあるか。</p> <p>今回を含め、金額の大きい工事が多数出ているが、財源は補助金によるものか。</p>	<p>業界全体が逼迫しており、他の発注機関では不調になった事案も多い。</p> <p>高石市は、予定価格と最低制限価格を事前公表しているため、不調になりにくいと推測される。</p> <p>資材価格の高騰、東日本大震災復興のための建設業従事者の移動等、様々な要因が考えられる。</p> <p>業界新聞等で、情報収集してまいりたい。</p> <p>労務単価の上昇に伴う積算の見直しについて通知を受け、対応している。</p> <p>社会資本整備総合交付金を受けている。</p>

<p>一連の(仮称)高石市鴨公園防災体育館新築工事に係る工事は、比較的規模の大きい工事であり、業者の受注意欲も高いと予想されたが、結果としては辞退が多かった。</p> <p>落札業者及び辞退した業者は、高石市での受注実績はあるか。</p> <p>一連の工事において、入札及び契約の適正が確保されているか検証するためにも、業界の動向等情報の収集に努められたい。</p>	<p>受注実績はない。</p> <p>今後、情報の収集に努めてまいりたい。</p>
---	---